

令和4年12月7日

阪本尚文編『知の梁山泊—草創期福島大学経済学部の研究』が出版

阪本尚文編『知の梁山泊—草創期福島大学経済学部の研究』（八朔社、2022年）が11月3日に発売されました。福島大学の複数の学類のスタッフや福島大学経済学部OBで各分野の第一線で活躍している経済学者らが結集し、20世紀中葉の福島大学経済学部の学知とその担い手たちを、経済学史、理論経済学、経済史、歴史学、法学の各方面から多面的に考察しています。

本書は、2022年に創立100周年を迎えた福島高等商業学校・福島経済専門学校・福島大学経済学部を主題とする論文集であり、「稀にみる自由な学的雰囲気」（山田舜）に満ちていた1940年代から60年代初頭に所属した教官たちに、とくに焦点をあてています。当時の福島大学経済学部には、小林昇をはじめ藤田五郎、熊谷尚夫、庄司吉之助、大石嘉一郎、吉岡昭彦、山田舜、星埜惇ら「綺羅星のような」俊英たちが集い、「知の梁山泊」（吉原泰助）の様相を呈していました。

経済史や経済学史を中心に日本の学界を牽引していた彼らの業績を示すにとどまらず、20世紀中頃の福島大学経済学部で形成された学知がいかなる特徴を持ち、どのような思想的・政治的・社会的な可能性と限界を含んでいたのかという問いに、経済学のみならず、歴史学・法学にまでウイングを広げて取り組むことを、主な課題としています。



写真1 本書表紙



写真2 コラム④に登場する福島高商商品陳列館

本書の執筆者と目次は、以下の通りです。

- はしがき 阪本尚文（福島大学行政政策学類准教授）
- 序章 草創期福島大学経済学部の知識社会史試論 阪本尚文
- 第1章 文書集成から分かる初期小林昇——その青少年期・福島期文書の収蔵
によせて 原田哲史（大28卒、関西学院大学経済学部教授）
- 第2章 熊谷尚夫と経済学の方法 川越敏司（大41卒、公立ほこだて未来大学
システム情報科学部教授）
- 第3章 福島大学経済学部と「戦後歴史学」——藤田五郎と庄司吉之助の日本
近世史研究 小松賢司（福島大学人間発達文化学類准教授）
- 第4章 「経済史学の福島学派」の興隆と衰退——1950年代中葉から60年頃ま
での一齣 白鳥圭志（大43卒、東北学院大学経済学部教授）
- 第5章 西洋経済史家＝吉岡昭彦の研究展開と大塚「主体論」の継承問題——
青年期、東大時代、福島大学時代、東北大学時代 白鳥圭志
- 第6章 〈福島学派〉の民法研究そして教育 山崎敏彦・山崎暁彦（元福島大学
経済学部教官・青山学院大学名誉教授、福島大学行政政策学類准教授）
- 第7章 〈福島学派〉の憲法学——相沢久的なるものをめぐって 金井光生（福
島大学行政政策学類教授）
- 第8章 信仰・学問・政治——井上紫電の展開とその憲法哲学 阪本尚文
- コラム① 近代経済学の先生方の思い出 永倉禮司（大15卒、福島大学学長参
与、元福島大学理事・副学長）
- コラム② 福島高等商業学校文書にみる学生像——『自己要録』に記された愛読
書を中心に 徳竹剛（福島大学行政政策学類准教授）
- コラム③ 暗い時代の人々——博棟華と朱紹文のこと 阪本尚文
- コラム④ 満鉄図書の旅、満鉄図書への旅 阪本尚文
- コラム⑤ 福島大学評判記——各種出版物にみる経済学部の1980年頃までを中
心に 新保芳栄（大19卒、元日本銀行考査役・整理回収機構執行役員）

なお、本書は福島大学経済経営学類信陵同窓会から100周年記念事業の一環として出版助成を受けて出版されました。また、第1章の主題である「小林昇青少年期・福島期文書」の整理は、2022年度福島大学重点研究分野 foR-A プロジェクトに採用されることで可能となっています。

（お問い合わせ先）
行政政策学類・准教授 阪本 尚文
メール：n-sakamoto@adb.fukushima-u.ac.jp